

Ube
宇部 I E C A 会報
International Cooperative
Report
Environmental Association
Ube IECA Report

— 発行 —
宇部環境国際
協力協会

創刊号

1999.9.



平成10年(1998年)8月、設立総会における記念講演

講師：橋本道夫先生

創刊によせて

宇部市は、平成9年(1997年)6月国連環境計画(UNEP)から、環境の保護及び改善に功績のあった個人及び団体にたいして贈られる「グローバル500賞」を受賞しました。

この受賞は、「宇部方式」に基づく本市の公害対策が高く評価されたと同時に、「宇部方式」の精神と手法が現在、多くの公害問題を抱える開発途上国における環境の保護及び改善に広く活用できるものとして期待された結果であるとともに、開発途上国をはじめ深刻な環境汚染に直面している諸外国への環境国際協力が求められているものと考えられます。

このような状況を踏まえ、平成10年(1998年)8月環境先進都市として国際的視野に立って地球環境の保全活動に積極的に貢献していくことを目的として、「宇部環境国際協力協会(宇部IECA)」が民間組織として発足いたしました。

このたび、本会の情報誌として会報を創刊し、グローバル500賞受賞から宇部IECAの、今日までをつづつてみました。

今後、皆様方のご指導・ご意見を参考に、よりよい情報誌にしていきたいと考えておりますのでお力添をお願いします。

平成11年(1999年)9月

理事長 中西 弘



グローバル500賞の授賞式は、世界環境デーの平成9年6月5日に大韓民国ソウル市で行われ、藤田忠夫市長を始め市民・企業・学者の代表者が出席し、表彰状を授与されました。



グローバル500受賞記念講演会

Lecture Meeting



UNEP「グローバル500賞」受賞記念特別講演会は平成9年6月23日、市文化会館であり、前国連大使の波多野敬雄・フォーリンプレスセンター(外国人記者クラブ)理事長が、「国連の課題と日本の貢献～地球環境問題を考える～」と題し、1時間半にわたり講演されました。会場には市民や環境保全関係者ら350人が詰めかけ、熱心に耳を傾けました。

グローバル500賞受賞記念セミナーの実施状況

グローバル500賞受賞を記念して、まず宇部市民の皆様にもっと世界を広く知ってほしいとの考えで、西日本国際交流推進協会を通じて、下記のとおり、外務省関係者等の講演会が開催されました。

1.

平成9年9月26日 「世界の情勢と日本の課題」

国安正昭 (駐ポルトガル大使)

2.

平成9年11月28日 「工業開発と環境の調和」

藤田慶喜 (元国連工業開発機構工業推進部長、現櫻美林大学教授)

3.

平成10年1月30日 「国際協力と環境問題」

宇山智哉 (外務省経済協力局調査計画課首席事務官)

中止

平成10年3月20日 「中国経済の動向とアジア情勢」

小野啓一 (外務省アジア局中国課課長補佐)

4.

平成10年4月22日 「最近のペルー情勢」

ビクトル・アリトミ・シント (駐日ペルー大使)

5.

平成10年5月29日 「最近の朝鮮半島情勢」

阿部孝哉 (外務省アジア局北東アジア課地域調整官)

6.

平成10年7月31日 「技術協力がもたらす世界の平和」

夏目高男 (外務省経済協力局技術協力課企画官)



平成10年度海外研修生の受入

30カ国の研修生が来宇 環境国際協力協会が初受け入れ

グローバル500賞を受けた宇部市の環境問題への取り組みを学ぶため、世界三十カ国の政府機関の研修生が来宇した。外務省の外郭団体、海外経済協力基金(略称OECF)が開発途上国を対象に開いている「ODA(政府開発援助)ローンセミナー」の一環で、宇部環境国際協力協会が受け入れた。

ODA(政府開発援助) ローンセミナー

研修実施主体●海外経済協力基金(OECF)
期 間●平成10年9月29日～10月1日(3日間)
研修生●各国政府財務担当者 30カ国30名
研修・視察先●宇部興産(株)、同セメント工場、
中国電力(株)火力発電技術センター、宇部市

※研修生と会員との交流会開催



第6回大連市個別研修 「環境保全コース」研修

研修実施主体●KITA((財)北九州国際技術協力協会)環境協力センター
期 間●平成10年10月14日～10月16日(3日間)
研修生●中国大連市環境保護局職員1名
研修・視察先●宇部興産(株)セメント工場、中国電力(株)火力発電技術センター、宇部市、宇部市環境保全センター、リサイクルプラザ

平成10年度山東省環境改善 技術者養成事業研修

研修実施主体●山口県
期 間●平成10年10月26日～10月29日(4日間)
研修生●中国山東省 企業技術者 2名
研修・視察先●セントラル硝子(株)宇部工場、宇部興産(株)セメント工場、協和醗酵工業(株)宇部工場、宇部蒲鉾(株)、宇部市、宇部市環境保全センター、リサイクルプラザ、東部浄化センター





シンポジウム「中国の環境問題と日中協力」講師訪日団視察

研修実施主体●(社)日中科学技術文化センター
 期 間●平成10年10月30日(1日間)
 研修生●中国環境保護局をはじめとする中国環境関係機関代表 6名
 研修・視察先●中国電力(株)火力発電技術センター、宇部市

平成10年度「持続的開発と環境資源管理政策」コース研修

研修実施主体●国際協力事業団(JICA)中国国際センター
 期 間●平成10年12月2日(1日間)
 研修生●各国政府、自治体の環境管理、開発計画担当者12カ国14名
 研修・視察先●宇部興産(株)、同セメント工場、宇部市



平成10年度研修生国別内訳

Abroad Trainee

国 名	人数 ()は女性				
中国	11(3)	フィジー	1	モロッコ	1
タイ	3(1)	グルジア	1	ミャンマー	1
ブラジル	2(1)	グアテマラ	1	ネパール	1
ジョルダン	2(1)	インド	1	バプアニューギニア	1
マレーシア	2(2)	コロンビア	1	パラグアイ	1
パキスタン	2	ベネズエラ	1	チュニジア	1
ペルー	2(1)	インドネシア	1	トルコ	1
スリランカ	2	ラオス	1	ベトナム	1(1)
アルバニア	1	マリ	1	バングラデシュ	2(1)
アルメニア	1	モーリシアス	1	エルサルヴァドル	2
ベナン	1	メキシコ	1(1)	33カ国	
		モンゴル	1	53人 男性41 女性12	

グローバル500賞

●●●●●●●●●● これまでの受賞者 ●●●●●●●●●●

これまでに、我が国から以下の方々及び団体が受賞している。

- ◆1987年 本田 宗一郎(本田技研工業社長)
- ◆1988年 小原 秀雄(女子栄養大学教授、トラフィックジャパン理事長)
岡島 成行(読売新聞社記者)
- ◆1989年 石 弘之(朝日新聞社編集委員)
- ◆1990年 橋本 道夫(海外環境協力センター理事長)
北九州市
- ◆1991年 宇井 純(沖縄大学教授)
- ◆1992年 佐藤 大七郎(日本野生生物研究センター理事長)
菱田 一雄(菱田環境計画事務所所長)
- ◆1993年 原 剛(毎日新聞社編集委員 論説委員)
坪田 愛華
- ◆1994年 小林 料(東京電力理事)
原田 正純(熊本大学医学部助教授)
- ◆1995年 四日市市
- ◆1996年 森嶋 昭夫(上智大学教授)
- ◆1997年 宇部市
- ◆1998年 後藤 康男(安田火災海上保険(株)会長)



1999年国連環境計画グローバル500賞受賞者

一般部門

地球環境行動会議

沼田 眞

政界、産業界、学界の有力者で構成され、国連機関との密接な連携の下で、持続可能な開発の実現のために活発な活動を進めるとともに、有意義な提言を世界に向けて発信している。92年3月の「地球環境賢人会議」をはじめ、多くの国際会議を開催している。

60年以來、日本の自然保護活動の中で指導的役割を演じてきた。国際自然保護連合(IUCN)生態委員会委員として科学調査を行うとともに、自然環境保全地域・森林生態系保護地域の指定に貢献。日本としては初めてのレッドデータブックを編集した。

田中 正之

温室効果ガスおよびエアロソル(大気中の微細粒子)の研究に当り、気候学および地球環境科学の発展に尽くす。30年以上にわたって大気組成の変化が気候変動など地球環境に影響を与える可能性のあることを主張。著作を通じて一般の啓蒙にも貢献している。

トヨタ自動車株式会社

環境に配慮した自動車をつくることをめざし、技術の向上にとめている。1997年12月、「ハイブリット」パワーシステムを世界初搭載した乗用車「プリウス」を発表。環境マネジメントシステム/環境監査の国際規格であるISO14000シリーズへの対応にも積極的。

青少年部門

こどもエコクラブ

環境保護と環境学習活動に関心を持つ日本全国の小、中学生7万人余りが参加するネットワークで、1995年に誕生。それぞれ目標を定めて自主的な活動を行うとともに、地域住民とも連携して環境保全活動を推進している。

「平成11年度宇部IECA総会」

6月28日(月)宇部市文化会館において、会員多数の出席のもと開催され、前年度の事業、収支報告、新年度の予算案、事業計画案(ペルーからの研修生の受入れ及び会報誌の発行等)が審議、決定されました。

総会后、宇部市出身で国連広報センター広報官の妹尾靖子さんが「国連の地球規模的な課題への対応」をテーマに講演されました。



講師：妹尾靖子氏



ボランティアのお願い



今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると
思われます。皆様方のご事情に合ったボランティアを
積極的に行っていただけないでしょうか。



たとえば外国語の会話が可能な方(英語・スペイン語等)、
研修生は基本的には宿舎に泊まりますが、(土)(日)(祭)
等の一日ホームステイや、市内又は市内周辺を案内し
ていただくこと等です。



研修生にとっては研修もさることながら、直接市民
とのふれ合いが最も印象に残るといわれていますので、
宇部でのよき思い出づくりにご協力ください。



事務局の移転

★7月1日に事務局が移転しました。
発足してから市役所内に事務局を設けており
ましたが、このたび下記に移転しました。

宇部市中央町1-10-32
エビスビル3F

ささやかな事務局ですが、交通の便もよいところ
です。皆様方の情報交換の場としてご利用し
ていただけたらと考えますので是非、お立寄り
ください。



会 / 員 / 募 / 集

現在の会員数(平成10年度会費納入者実績)

- 個人 531人
- 法人団体 123団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営さ
れております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。
「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘
いをお願いします。

宇部IECA 宇部環境国際協力協会

〒755-0045
山口県宇部市中央町1丁目10番32号
エビスビル3階
TEL・FAX(0836)36-3199